

仏教の未来に挑戦するフリーマガジン

フリースタイルな僧侶坊

第三八号 平成二十七年十二月一日発行(隔月一回) 日発行) www.freesamuk.com

特集

自分のためにも

四国の僧侶、路上の供養

曹洞宗 高木一晃

マンガ お坊さん日和。第16話「お坊さんの日常 アフター5の僧侶です」

仏教とデザイン「縦横比」 しりとり法話バトル 第11回「疑い」

12・1月の仏教イベントカレンダー

38



自分のためにも

四国の僧侶、路上の供養

高木一晃（曹洞宗）

「……羯諦羯諦 波羅羯諦
波羅僧羯諦 菩提薩婆訶
般若心経」

9月下旬、四国の愛媛県西条市の国道沿いに、黒い法衣に身を包んだ僧侶たちの声が響いた。交通死亡事故の犠牲者を供養するための読経の声だった。

西条市の興雲寺住職である高木一晃さんが発起した「交通事故殉難者慰霊供養」。高木さんの思いに共感した地元の若手僧侶の有志が、この1年に西条西警察署管内で起こった事故現場に赴いて、お花をお供えして『般若心経』を唱え、その傍らでは僧侶が立て札を持って、道行く車に交通安全を啓発していた。

文／田中祐大 text: Yūta Tanaka

私は、西条市の隣り、今治市にある仏具店の後継ぎだ。私と同世代の若い僧侶の方たちが、こうした活動をされている。そのことを知り、私は今年初めて、この慰霊供養に同行させていた。なぜ、こうした路上での供養を始めようと思ったのか。また、どのような思いで供養をされているのか。発起人である高木さんにお話を伺った。

僧侶なのに何もできない

高木さんが住職をつとめる興雲寺は、四国の名峰・石鎚山の麓の山間に位置し、境内の向こうには黄金色をした田園が広がっている。

高木さんが交通事故殉難者慰霊供養を始めたきっかけには、ご自身が経験された悲しい別れがあった。平成21年9月初めに、ご近所にお住まいの60歳代の女性の檀家さんが、お寺のすぐそばの国道で事故死されたのだ。「前日に地域の草刈りでお会いしたばかりでした。よくお孫さんを連れてお寺にお参りに来てくださって、前日もお孫さんの話をした

ところだったんです。それが翌日に訃報を聞いて、言葉が詰まりました。いつもお通夜では法話をしているけど、このときはできなくて。何も言葉が出なかった。

ご遺族を前にしたら、何を話しても言葉が届かない気がしたから……。僧侶なのに、一番の悲しみの中にいる人に何もできない。あのときほど、僧侶としての無力さを痛感したことはなかったかもしれない」と、高木さんは当時を思い出す。

そして、「毎日何気なく通っていたその国道が、檀家さんの事故を境に全く違うように見えるようになったんです」と続けられた。

あの場所で拜んでほしい

それから1年が経った。その檀家さんの一周忌のご法事とき、ご遺族の方から「事故現場でお経を唱えていただけませんか」と依頼を受ける。このことが高木さんにとっての大きな転機となった。

「息子さんが『いつまでも現場でくよくよしていると、本人も未練が残ってしまい

そうなのがするし、区切りをつけたいので拜んでほしい』と言われたんですよ。それで、ご自宅でのご法事が終わった後、ご家族と一緒に事故があった場所に向かっ、読経させていた。私たちは、お寺とか葬儀会館とか、自宅、墓地、いろんな場所で読経するけど、亡くなられた場所です。読経する」という発想がなかった。そのとき、ハツとしました。それと同時に、1年前のお通夜のとこのことも思い出しました。ご遺族にとっても特別な場所である事故現場で読経することで、亡くなられたご本人の供養だけじゃなくて、わずかならうけれどもご遺族の悲しみにも応えることができるのかと」

このときの思いを、高木さんはこのように話された。

自分も慰霊供養を

たまたまそのご法事から間もない時期に開かれた、全国曹洞宗青年会による傾聴研修会に、高木さんは参加する。「傾聴」とは、話し手の話の深く丁寧に聴くこと、

人々が持つ苦悩や悲しみに耳を傾けることである。その研修会では、自死や事故死などの突然の別れで悩まれている方の事例を元にシミュレーションをして、相談者と向き合う訓練をした。

「遺された方の中には、時間が経つても苦しみ続けられる方がいらつしやる。頭では分かっていたけど、身体でそのことを感じられたのは大きかった」と、そのときのことを回想された。

そして、その研修会の中で、茨城県曹洞宗青年会の僧侶が、事故現場をめぐる慰霊行脚をされていることを高木さんは知った。

「そのとき、つい先日のご法事のときのご頭が浮かんで。そして帰りの電車の中で、ふと秋の交通安全運動の期間がお彼岸の時期に重なることに気づいたんです。それで、自分も慰霊供養をしようと、使命感のような感情に駆られました。でも準備期間が10日間もなかった。どうしようかと少し躊躇していた私を、研修会と一緒に参加していた後輩任職が後押ししてくれました。彼も、少しでもそう

したご遺族のお力になれたらと思っていたからだと思います。『一緒にやりましょう、高木さん』と言ってくれて。彼の協力がなかったら、この一歩は踏み出せなかったと思います」

研修会でのこうした出来事が契機となつて、高木さんは「交通事故殉難者慰霊供養」を始めることになった。犠牲者の方の供養のために、ご遺族の悲しさや苦悩が少しでもやわらぐように、そして交通事故を一つでも減らす啓発のためにと、さまざまな思いを込めて。

立場は違う、思いは一つ

高木さんは、この1年で起こった交通死亡事故の現場を知るために、地元の警察署に向かった。すると、高木さんを迎えた若い警察官の方は、その思いと考えを聞いて、「警察の方でもないので、交通安全の啓発活動をしていただけるのは本当にありがたいことです。できる限り協力させていただけます」と語り、署内で上司の方に掛け合つて、現場をスムーズに回れるよう



に取り計らつてくれたという。そして、一つひとつの事故について当時の状況も聞かせてくださったことで、「そのことに思いを馳せながら、読経することができました」と高木さんは話す。

また、慰霊供養をすることを直前に知った地元の新聞記者の方も、高木さんの思いに賛同し、応援してくれるようになった。「自分たちも事故を取材し報道することで、事故防止を訴えているけど、それも限界があります。僧侶の皆

さんが、僧侶ならではの方法で事故に向き合い、事故防止に取り組んでくれることがありがたい」と記者の方は話され、その当日の様子も記事にしてくださいました。

警察官と新聞記者と僧侶。立場は違えど、悲しい事故を少しでも減らしたいという思いは一つだった。三者の力が合わさつて、大きな力になったのだと思うと、私ほどこか胸が熱くなった。高木さんはそれ以後、毎年秋のお彼岸の時期に志を

同じくした僧侶とともに、西条西警察署管内でその1年に起こった交通死亡事故の現場すべてを供養してまわっている。最初3人で始まった交通事故殉難者慰霊供養は、現在、地域的な広がりに加えて、宗派も超えて、参加する僧侶も増えている。

安心を与えられたら

高木さんが交通事故殉難者慰霊供養を始めてから6年が経った。誰かに頼まれて行

高木一晃(たかぎ・いっこう)

1971年、愛媛県今治市野間寺の長男として生まれる。駒澤大学仏教学部卒業後、大本山總持寺で修行。その後、野間寺副住職と今治市教育委員会(公民館)を兼職。2007年、縁あって西条市興雲寺住職に就任。元全国曹洞宗青年会副会長。石根小学校PTA会長



っているのではなく、自発的にされている慰霊供養。このように高木さんを動かし続けるものは何なのだろう。高木さんに尋ねてみた。

「やはり、私が修行させていたでいた大本山總持寺を開かれた瑩山禪師ですね。『観音さまのような慈悲の心をもつて多くの苦しんでいる人々を救う』と誓われて、その通りに生きられたお方なんです。私も少しでもそうした生き方をしたい、救うという大げさに聞こえるけど、苦しんでおられる方々に、少しでも安心を与えられたらと思います。慰霊供養をするときは、特にこのことを思うんですよ」

この言葉を聞いたとき、ある畑の持ち主の方のことを思い出した。私が同行していた慰霊供養の途中で、事故現場となった畑の持ち主の方から事故の様子や事故後の心境などを伺うことがあった。その方は「事故処理は終わり元と同じように戻ったけど、自分の畑で人が亡くなったと思うと、亡くなった方には申し訳ないが、どうしても怖いと思

ってしまう。お坊さんが押んでくれて、少し安心できました」と話されたのだ。

交通事故殉難者慰霊供養を供養しているように見えるが、ご遺族の方々の悲しみをやわらげ、周りで暮らす方々にも安心を与えている。もしかしたら、悔悟する加害者の方の心にも響いているかもしれない。そして、その事故には関わっていない通行車両への啓発も込められている。「多くの人々に安心を与える」というのは、こういうことなのかもしれない。そのときに思った。

また高木さんは、次のようにも話を続けられた。その言葉で、この度の記事を結びたいと思う。

「それから、大本山永平寺を開かれた道元禪師が『正法眼蔵』というお書物の中に、『菩提薩埵四摂法』というものを示されているんです。『人々を救うために行うべき四つのこと』という意味で、その一つの『利行』は、『見返りを求めず、他者に恵みを与える行い、他者

に安心を与える行い』のことで。人のために優先したら、自分が損をすると思うかもしれないけど、そうじゃない。一方的に他者のためを思ってしまうことが、実は自分のためにもなるんだとお示しくださっているんですよ。あのお通夜の無力感が、心に残っているんです。でもご法事のときの息子さんの一言をきっかけに、それまで思いつかなかった事故現場での慰霊供養をさせていただくことになった。ささやかな行いだけど、事故で亡くなられた方を思って供養する中で、自分の僧侶としての存在意義も感じられているとも思う。だからこそ、毎年こうして続けられているんだろうと思います。『僧侶はこれとこれをするもの』という型から自由になった利行をさせていただけるようになって、そう感じるようになっていくようになった。

ありがとうございます。でも田中さんもそうでしょ？ お客さまのことを思って、お仕事をされている。それが、お給料という意味だけじゃなくて、自分のために

もなっていると思う。喜びも感じるだろうし、自分も育てられているんじゃないかな。それに、お仕事をされている方だけじゃない。すべての方が、他者のことを思ってされている行いは、実はそのまま自分のためにもなっているのだろうと思いますね」



田中祐大(たなか・ゆうた)

1985年、愛媛県今治市生まれ。京都の大学を卒業後、大阪の精密機械メーカーにて、3年半営業職に携わる。退職後は夢であった世界一周の旅に出発。1年半の旅を終え、2013年帰郷。現在は、家業である田中仏光堂の後継ぎとして日々奮闘中

お坊さん 目録。

トランスフォーム

16話

“お坊さんの日常
アフター5の僧侶です”
まんか
みつざわ ひろあき



僧侶は普段
何をしてるの？

普通に
働いています

あ！

ソウキ デキタ
スグ カエシ。
ジュウゴク

部長
すみません

早退します

僧侶には実は
市井の人々にあまり
知られていない
姿があるのであった：



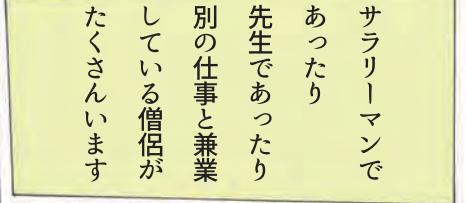
とりあえず いいね！
すれば角は立たんやろ

僧侶だって現代人
悩みは万人共通



解った様な
顔をして：

生活や煩わしさに
束縛される身です



サラリーマンで
あつたり
先生であつたり
別の仕事と兼業
している僧侶が
たくさんいます



昨日 寺院の
経済状況は
かなり厳しく
兼業をしないと
日々の生活はもちろん
お寺の維持ですら
ままならないのです



“いかにもく！”な
僧侶もいれば

俺たちみたいな
スーツを着た僧侶も
いるんだぜ

我ら、隠れ僧侶ぞ。



とも
戦友よ!!

業界で会うより
3倍うれしい



実は…
俺も僧侶
なんです

社会で偶然ほかの
僧侶と出会うと

仏教と デザイン

縦横比

チラシやポスター、書籍や雑誌など、社会には様々な印刷物があります。これらの印刷物は、縦と横の比率でサイズが決定され、その縦横比によって役割にそった、特徴を持つものとなります。

縦横比には、印刷の効率を上げるために規格サイズがあり、A4やB5など、社会の中で使われているなじみ深い規格サイズの比率は、約1.1・4です。この比率を「白銀比（はくぎんひ）」といいます。

白銀比は、「大和比」とも呼ばれ、古来から日本人はこの比率を使用してきたとされています。絵画や建築物、生け花などなど。とりわけ興味深いのは、寺院の建築様式や、仏像にもその比率が見られることです。

寺院に見られる白銀比で有名なものが、聖徳太子により創立された四天王寺と法隆寺です。上空から見たその伽藍の配置に、白銀比の長方形があるとされています。仏像では、法隆寺金堂釈迦三尊像の中尊の面相、

興福寺の阿修羅像の台座を除く全身に白銀比長方形が見られます。

一方、平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像の面相、薬師寺の伽藍配置には、縦横比の等しい正方形が用いられ、白銀比と同様に古来より日本人に親しまれていた比率といえそうです。

なぜ、白銀比や正方形が好まれるのか。その解はさまざまで、いまだ仮説の域を出ていません。少なくとも、お釈迦さまの教えのように、普遍的な真理を有しているからこそ、現代に続いているのだと思います。

縦と横。それらは相互に依存し関わり合い存在し、依って起こった形はまた、比率という条件に依存して存在している。まるで、お釈迦さまが説かれた「縁起」のよう。仏教とデザイン、ムムム。

あら、そういうえば弊誌もA4サイズですね！

お後がよろしいようで……。

文／梅本龍青 うめもと・りゅうせい
1984年和歌山県生まれ。日蓮宗僧侶。弊誌デザイン担当。印刷会社での営業マンを経て、2014年、信行道場を修了し日蓮宗僧侶となる。現在、自坊で研鑽を積むかたわら、京都を中心に、グラフィックデザインとしても活動中
www.nilotpala.jimdo.com

このコーナーには、いくつか「白銀比」を用いて作られている箇所があります。探してみてください

しりとり法話バトル

第11回

お題

うたが
疑い

審査員 飯村絵理子、中島まほ、後藤美紀
judge@hiko.imura, Maho Nakajima, Miki Goto

今号の勝者はこの方！

佐山拓郎(さやま・たくろう)
浄土系単立天恩山五百羅漢寺住職

昭和のある年の秋彼岸、東京下町の小さなお寺で生まれる。おとめ座のB型。右投げ右打ち。縁あって目黒の羅漢寺の住職となる。「親しみやすいお寺を目指して奮闘中です！」

今回のお題は「疑い」
信じたいから、疑うのかも。

人気ゲーム「ドラゴンクエスト4」に、「しんじるころ」という宝石が出てきます。
ホフマンという青年が、ある時仲間に裏切られ、人が信じられなくなり。その青年を救うために、ドラクエ4の主人公は洞窟の奥から「しんじるころ」を取ってきます。
それを見たホフマンは、昔のことを思い出します。「あの時裏切ったのは、本当にあの仲間だったのだろうか」「もしかすると、仲間の姿をした怪物だったのでは」「もしそうなら、あの時仲間を信じていれば、仲間を助けられたのではないか？」
「もう一度、人を信じてみよう」とホフマンは決意し、主人公の仲間となります。「本当はどうだったのだろうか」という疑問が、信じたい心を取り戻すきっかけとなったのです。


次回のお題は「因果応報」

ウデに覚えがある僧侶の皆様
お投稿お待ちしております！
お題 因果応報(字数470字)
締切 12月31日
応募先 info@freemknet
残念ながら掲載に至らなかった法話と審査員の詳細はウェブサイトで見ることが出来ます。www.freemknet

EVENT CALENDAR



<p>最終回</p> <p>12月 24 木曜日</p> <p>仏教聖典を初歩英語で学ぶ会 [中期] 日本人に馴染み深い禅思想を初歩英語で学びます。</p> <p>18:30~20:00 500円 定員40名 講師/ステファン・グレイス氏(親鸞仏教センター嘱託研究員) ▶仏教伝道センタービル8F「和」の間 ※中期は最終回になります</p>	<p>12月 2 水曜日</p> <p>仏教ヨガ講座 Let's begin ヨガ Life! ヨガで心と身体をととのえましょう!</p> <p>1月 6 水曜日</p> <p>19:00~20:30 500円 定員25名(男女不問) 講師/Yuuka(ガッソ有香・山形県誓願寺浄土宗教師) 着替え持参(ヨガマットはご用意しています) ▶仏教伝道センタービル8F「和」の間 ◎2月は2/3(水)、3月は3/2(水)開講予定</p>
<p>新講座</p> <p>1月 21 木曜日</p> <p>仏教聖典を初歩英語で学ぶ会 [後期] 今期のテーマは『ユーモア、マンガ、歌に学ぶ仏教』。 簡単な英単語を使って仏教を学んでみませんか?</p> <p>全3回(1回のみ参加可) 18:30~20:00 各回500円 定員40名 講師/ケネス・タナカ氏(武蔵野大学教授、同大学仏教教育部長、日本仏教心理学会会長) ▶仏教伝道センタービル8F ◎2月は2/25(木)、3月は3/31(木)開講予定</p>	<p>1月 19 火曜日</p> <p>働く人のための坐禅会 仕事帰りに疲れた心と頭の整理をしませんか? お一人でも気軽にご参加ください。</p> <p>20:00~21:30(坐禅60分 お茶会20分) 500円 定員30名(男女不問) 講師/阿純章師(天台宗) ▶仏教伝道センタービル7F「縁」の間 ◎2月は2/16(火)、3月は3/22(火)開講予定</p>



公益財団法人
仏教伝道協会
BUKKYO DENDO KYOKAI

上記イベントは事前申込必要。お電話、Facebook、ウェブサイトまで。
Tel 03-3455-5851 E-Mail bdk@bdk.or.jp
Fax 03-3798-2758 www.bdk.or.jp
www.facebook.com/bukkyodendokyokai
〒108-0014 東京都港区芝4-3-14
JR「田町」駅 三田口(西口)より徒歩8分
都営地下鉄 三田線、都営地下鉄 浅草線「三田」駅 A9番出口より徒歩2分

12月
16
水曜日

坐禅会

坐禅は決して特別なものでも難しいものでもありません。時間に追われている日常を一度止めて、明日元気に働くためでもなく、すべての“ため”から離れて、自分自身に立ち返って休む、自分を深く休息させる、自分をみつめるひととき……。

大本山・永平寺で坐禅指導の経験をお持ちのお坊さんより、心にも体にも気持ちのいい坐禅の組み方と共に、禅についてやさしくわかりやすくお話いただきます。

食事18:00 坐禅19:00 終了20:30(予定)
前売2,000円、当日2,500円(食事代込)
定員15名
講師/嶽盛俊光師(曹洞宗南詢寺副住職)
申込・集合/natural kitchen めだか 2号店
☎06-6364-7108 メール info@west-medaka.com
▶natural kitchen めだか 2号店
(大阪府大阪市北区兎我野町3-20 雁木ビル1F)
JR「大阪」駅・各線「梅田」駅より徒歩15分

12月
12
土曜日

**「〜」(ホニヤララ)をめぐる
宗教間対話 #05「性」**

同じ一つの物事に対する見方は、宗教や世界観によって共通点があれば違う点もあります。身近な物事について、仏教とキリスト教ではどんな見方をするのでしょうか? 第5回のテーマは「性」です。仏教とキリスト教の研究者二人(辻村優英・波勢邦生)が簡単な話題提供をしたあと、皆さんと一緒に対話・交流をしながら「性」について考えたいと思います。

15:00~17:00
参加費=恩送り方式
(次回に参加される方のために任意の参加費をお納めください)
定員8名 話題提供/辻村優英・波勢邦生
主催/フリースタイルな僧侶たち
申込/http://www.freemonk.net/events
▶フリースタイルな僧侶たち事務所
(京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室)
JR「京都」駅、京都市営地下鉄 烏丸線「京都」駅より徒歩10分
※申込時にテーマに関する質問などがございましたらお知らせください。

EVENT CALENDAR



12月

31 除夜の鐘 & プロジェクションマッピング奉納

木曜日

東京目黒にある古刹・圓融寺で除夜の鐘つき体験と、今年で4回目となる「プロジェクションマッピング奉納」をお楽しみください。今年のプロジェクションマッピングは、六本木ヒルズや富士急ハイランドなど多くのイベントを手掛けた町田聡氏によるプロデュースで、全国各地より映像作家たちが集結。さらには圓融寺幼稚園の園児や近隣の子どもたちから募集した絵も特別投影する予定です。都区内最古の木造建築物で国の重要文化財にも指定されている釈迦堂が幻想的な光のアートに変貌します。

【プロジェクションマッピング奉納※】

於：釈迦堂前 21:00～ 5部構成

【除夜の鐘つき体験】

於：鐘楼 23:30～(108打限定。22:30に鐘楼前にて整理券を配布)

共催／圓融寺、圓融寺除夜の鐘奉納プロジェクションマッピング制作実行委員会(代表 町田聡)

▶天台宗 圓融寺(東京都目黒区碑文谷1-22-22)

東京メトロ「西小山」駅より徒歩20分

※雨天などで予定が変更になる場合は、ウェブサイトに掲載します。www.enyuji.com

12月

26 修養会(しゅようえ)

土曜日

お念仏と法話の会です。皆様に、経本を手に、実際に木魚を叩きながら一緒に、浄土宗の勤行式をお勤めしていただきます。部屋を暗くしてお念仏していると、時に頭の中が「無」に近づいていきます。あわただし年の瀬。心の垢を落としに来ませんか。お経を唱えたことがない人でも大丈夫です！最初は誰でも初心者です。終了後は、法話というよりも懇談のような形で、僧侶と語る時間があります。



14:00～16:00 500円 定員20名ほど

申込／当日13:50までに寺務所でお申込ください。

▶五百羅漢寺(東京都目黒区下目黒3-20-11)

東急電鉄目黒線「不動前」駅より徒歩8分、JR「目黒」駅より徒歩12分

※はじめての方は、寺務所受付へ申し出てください。

1月

30 アラサー僧侶とゆるーく話す会

土曜日

アラサーの僧侶 数名とフラットに話をする、ゆるーく話す会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話してみたいという方や、お坊さんの謎な生態・仏教の考え方にご興味のある方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか？どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

14:00～16:30

1,000円(フリスタ会員は800円) 定員10名

主催／フリースタイルな僧侶たち

申込／<http://www.freemonk.net/events>

▶京町家 さいりん館 室町二条(京都府京都市中京区冷泉町65)

京都市営地下鉄 烏丸線「烏丸御池」駅2番出口より徒歩5分

1月

23 ハナ唄聲明(しょうみょう) 『ハナ唄になるまでが理想の聲明講座』

土曜日

私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本のお能や狂言などは、念仏踊りや聲明(唄うお経)がルーツだそうです。そんな日本に伝来して1200年の聲明が、あなたのハナからメロディにのって出てくるまでが理想の超ビギナー向け講座。お寺で声を出すことに興味がある方は、お気軽にどうぞ(修行して認められる“聲明僧”の制度がない浄土真宗僧侶が講師を担当します。みんなでお勤めする浄土真宗ならではの経を、ゆるーく実際に唱える講座です)。

15:30～17:00 1,000円(フリスタ会員は800円) 定員20名

講師／山田真悟、福山智昭

主催／フリースタイルな僧侶たち

申込／<http://www.freemonk.net/events>

▶浄土宗 龍岸寺

(京都府京都市下京区八条坊門町564) JR「京都」駅より徒歩10分

※筆記用具をご持参ください。

May Buddha
Bless You !!



編集後記

昨年12月発行の第32号は、四国今治の僧侶、薬師寺寛邦さんが輪番編集長を務めてくださった。それと時をほぼ同じくして「フリースタイルな僧侶たち四国部」が立ち上がった。今号の特集記事の高木一晃さんは、フリストア四国のお一人だ。お話を伺う中で、6年前から「交通事故殉難者慰霊供養」をされていることを知り、特集記事として取り上げさせていただく運びとなった。

仏教が今を生きる人々の支えになるようにという思いを持ち、そのために本質を大切にしながら、型に捉われずに動く。それが、フリースタイルな僧侶たちに関わってくださっている方々に共通することだと思う。「慰霊供養」は、この点で通じるものもある、意義深い取り組みだと思ったのだ。

この10月末に今治に伺い、フリストア四国の方々とお会いする機会を持た。熱い。ほんと、熱かった。「この地を中心とした仏教をめぐる風景も変わっていくだろうな」と感じてどこか嬉しくなったり、刺激もただけでありがたかった。これからも一緒にがんばっていきましょう。

末筆乍ら、特集記事の作成にあたりお世話になった高木一晃さん、田中祐大さん、フリストア四国の皆様をはじめ、今号の発行のためにご苦労くださったすべての方に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

フリースタイルな僧侶たち

代表 若林唯人

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます。
以下に、法人サポーターの方々のお名前を掲載させていただきます。

安心院(京都府八幡市・浄土宗)／安楽寺(京都府南丹市・浄土宗)／石尾山弘法寺(大阪府和泉市・真言宗)／円光寺(東京都台東区・臨済宗妙心寺派)／延命寺(大阪府堺市堺区・浄土宗)／圓融寺(東京都目黒区・天台宗)／掃一寺(静岡県賀茂郡・臨済宗建長寺派)／宜雲寺(東京都江東区・臨済宗妙心寺派)／吉祥寺(山口県萩市・浄土宗)／九品寺(京都府京都市南区・浄土宗)／教安寺(福岡県福津市・浄土宗)／慶蔵院(三重県伊勢市・浄土宗)／光照院(東京都台東区・浄土宗)／光照寺(大阪府大阪市東淀川区・浄土真宗本願寺派)／光徳寺(福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派)／光明院・田中医院(京都府京都市中京区・浄土宗西山禅林寺派)／光明寺(奈良県吉野郡・浄土真宗本願寺派)／五百羅漢寺(東京都目黒区・単立)／金剛寺(京都府京都市東山区・浄土宗)／西明寺(兵庫県尼崎市・浄土宗)／西楽寺(京都府京都市伏見区・浄土宗)／西林寺(大阪府泉南郡・浄土宗)／淨栄寺(滋賀県東近江市・浄土宗)／正覚寺(青森県青森市・浄土宗)／淨元寺(兵庫県尼崎市・浄土真宗本願寺派)／性高院(愛知県名古屋市中区・浄土宗)／称讚寺(新潟県長岡市・真宗大谷派)正善寺(兵庫県伊丹市・浄土宗)／正法寺(京都府京都市東山区・時宗)／勝楽寺(東京都町田市・浄土宗)／正蓮寺(静岡県伊豆の国市・真宗大谷派)／信覚寺(福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)／新善光寺(北海道札幌市中央区・浄土宗)／瑞聖寺(東京都港区・単立)／瑞生寺(静岡県浜松市中区・曹洞宗)／崇興寺(広島県福山市・浄土真宗本願寺派)／崇福寺(滋賀県甲賀市・浄土宗)／善願寺(滋賀県甲賀市・浄土宗)／善道寺(北海道札幌市豊平区・浄土宗)／大圓寺(東京都目黒区・天台宗)／臺

鏡寺(大阪府枚方市・浄土宗)／檀王法林寺(京都府京都市左京区・浄土宗)／潮音寺(東京都大島町・浄土宗)／超覚寺(広島県広島市中区・真宗大谷派)／長壽院(東京都台東区・浄土宗)／南詢寺(大阪府守口市・曹洞宗)／梅窓院(東京都港区・浄土宗)／法岸寺(静岡県静岡市清水区・浄土宗)／宝皇寺(北海道函館市・真宗大谷派)／寶松院(東京都港区・浄土宗)／宝泉寺(愛知県津島市・浄土宗西山禅林寺派)／法善寺(大阪府大阪市中央区・浄土宗)／法然院(京都府京都市左京区・単立)／法華寺(京都府亀岡市・日蓮宗)／本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区・天台宗)／無量光寺(鳥取県鳥取市・浄土宗)／葉師院(大阪府岸和田市・真言宗)／陽岳寺(東京都江東区・臨済宗妙心寺派)／龍雲寺(東京都世田谷区・臨済宗妙心寺派)／龍岸寺(京都府京都市下京区・浄土宗)／緑泉寺(東京都台東区・浄土真宗本願寺派)

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)／逸藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)／株式会社 アールアンドブルー(京都府京都市中京区)／株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)／株式会社 薫芳堂(兵庫県神戸市)／株式会社 作島(京都府京都市下京区)／株式会社 トラベルサライ(大阪府大阪市中央区)／京都坊主BAR(京都府京都市中京区)／茶坊えにし(東京都台東区)／寺院コム(京都府京都市左京区)／大正大学(東京都豊島区)／浜屋株式会社(兵庫県姫路市) (五十音順)

フリースタイルな僧侶たちとは

「仏教＝葬式」だとあなたは思っていますか？しかし、経典をひもといってみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起るのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった“生きていくための教え”が多く説かれています。

人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありえません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。「フリースタイル」という言葉を掲げたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようと志し

てのことです。本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。

私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることもあるかもしれません。その際には、皆さまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしく願っています。

志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

サポーターズ・クラブ 会員募集中!!

私たちの活動に共感し、
応援していただける方を大募集中。

サポーターズ・クラブの皆さまには、年間6回発行予定の本誌をお届けいたします。
また各種主催イベントにおいて優待いたします。
法人サポーターの方々には、誌面にお名前を掲載させていただきます。

協賛年会費：5,000円(個人)
30,000円(法人)

■会費振込先
三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

※お振り込みの際には、あらかじめご連絡ください。
・Telでのお問い合わせ ☎050-5583-4330
・Faxでのお問い合わせ ☎050-3730-9864
・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

冬用 各宗派衣価格(税込)

● 布袍化織地	18,800円より	● 黒直綴化織地	27,000円より
● 改良衣化織地	17,500円より	● 白衣テトロンウル	9,950円より
● 間衣化織地	17,500円より	● 白衣高級メガーナ京仕立	16,800円より
● 黒衣化織地	30,500円より	● 足袋	950円より

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上(西本願寺前店)

☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

http://r.gnavi.co.jp/k024400/

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





Mamaia
 浜屋は
 関西最大級の
 お仏壇・お仏具・
 墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
 通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
0120-1616-94
 ●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 奈良王寺店 ☎(0745)31-2211代 | 尼崎市役所前店 ☎(06)6414-3900代 |
| 奈良生駒店 ☎(0743)83-2211代 | 尼崎店 ☎(06)6413-2211代 |
| 岸和田店 ☎(072)445-2211代 | 宝塚店 ☎(0797)83-4500代 |
| 堺鳳店 ☎(072)261-2211代 | 西宮店 ☎(0798)51-2211代 |
| 藤井寺店 ☎(072)954-2211代 | 西宮駅前店 ☎(0798)34-2280代 |
| 駒川店 ☎(06)6709-2211代 | 芦屋店 ☎(0797)35-1194代 |
| 八尾久宝寺店 ☎(072)925-2200代 | 三田店 ☎(079)559-2211代 |
| 中環東大飯店 ☎(06)6783-2211代 | 神戸本店 ☎(078)371-2211代 |
| 環屋川本店 ☎(072)829-2211代 | 新長田店 ☎(078)621-2211代 |
| 枚方家具団地店 ☎(072)836-2211代 | 明石店 ☎(078)927-2211代 |
| 高槻店 ☎(072)683-2211代 | 明古川店 ☎(079)426-2211代 |
| 茨木店 ☎(072)622-2211代 | 加古川店 ☎(079)443-2211代 |
| 箕面店 ☎(072)726-5522代 | 高砂店 ☎(079)282-2211代 |
| 豊中野店 ☎(06)6853-2220代 | 姫路店 ☎(079)282-2211代 |
| 豊中店 ☎(06)6848-2211代 | 福崎店 ☎(0790)22-2211代 |
| 川西店 ☎(072)759-2201代 | 網干店 ☎(079)272-2211代 |
| 北伊丹店 ☎(072)780-5211代 | 龍野店 ☎(0791)62-2235代 |
| 伊丹店 ☎(072)775-2211代 | 赤穂店 ☎(0791)45-2211代 |
| 東園田店 ☎(06)4960-4000代 | 山崎店 ☎(0790)62-5171代 |
| | 浜屋漆工芸館 ☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

大切な人を亡くした若者の



お父さん、お母さん、友達、先輩…大切な人を亡くした人同士が会い対話する場です。「他に亡くした人の想いを聞きたい」「自分の気持ちを整理したい」そんな気持ちに応える機会にしたいと思います。

この事業は京都府自衛隊対策事業補助金を受けて開催しています。

日時 毎月第三日曜日開催 | am10:00~pm4:00

場所 京都市内にて ※詳細は参加者の方にお知らせします。

対象 病気・自殺・災害・事故等によって自分にとって大切な人を亡くした15~30歳ぐらいまでの人

申込 ☎ 090-6116-5680 または ✉ info@live-on.meまで

備考：参加費無料 〆切は開催3日前の木曜日

一般社団法人



http://www.live-on.me/

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付：毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ: <http://tomoiki.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

